

事務事業マネジメントシート(兼 事務事業コスト計算書)

事務事業名: 男女平等推進事業
実施計画上の重点施策
政策名: 2 ひとが生きる、暮らす
所属部: 政策経営部
所属課: 市長室
施策名: 15 施策15 男女平等と男女共同参画社会の実現
所属係: 男女平等・人権・平和担当
課長名: 松田 周平
予算科目: 15
法令根拠: 男女共同参画社会基本法 国立市男女平等推進市民委員会条例
事業期間: 単年度のみ

事務事業の概要(事業開始の経過、事業の具体的な手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【男女平等推進計画進行管理業務】
男女平等推進計画の進行を管理するため、庁内における男女共同参画状況調査、庁内会議である男女平等推進会議による調査・検討及び国立市男女平等推進市民委員会による国立市第四次男女平等推進計画の進捗状況の点検・評価を実施する。現計画は、平成18年度～27年度であり、次期計画策定に向けて、平成26年度に現計画の点検・評価、平成27年度に次期計画策定を行う予定。

【男女平等推進セミナー開催業務】
男女平等に関する市民や職員の理解と関心を高めるため、セミナーを実施する。年1～2回開催、1回2時間程度、会場は市役所会議室など。対象は市民及び職員。市報・HPへの掲載、チラシ配布などによる広報、NPO等との共催実施もある。市単独実施とは別に、東京都や他市との共催セミナーも実施する場合がある。

【多摩3市男女共同参画推進共同研究会】
東京都市長会の多摩・島しょ広域連携事業助成金を活用し、小金井市、狛江市、国立市の3市による共同研究会を立ち上げ、男女共同参画に関する研究やイベント、他市の視察等を行う

1 現状把握の部(PLAN)(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

手段(主な活動)
平成25年度の実績(平成25年度に行った主な活動)
・男女平等推進セミナーの開催
・多摩3市男女共同参画推進共同研究会に参加し、「ワーク・ライフ・バランス」をテーマとしたイベントの実施や標語の募集などによる啓発活動、他市の視察による研究等

平成26年度の事業計画(平成26年度に計画している主な活動)
・次期男女平等推進計画の策定に向け、意識調査の実施、男女平等推進会議の開催、男女平等推進市民委員会の開催
・男女平等推進セミナーの開催

・多摩3市男女共同参画推進共同研究会に参加し、「人権(DV等)」をテーマとしたイベントの実施や標語の募集などによる啓発活動、他市の視察による研究等
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)
・修正、効果的に執行される。
・日常における男女平等の意識を向上させる。

結果(どんな結果に結び付けるのか)
市民・事業者が、あらゆる分野で、男女共同参画が確保される

(2)各指標等の推移

Table with columns: 名称, 単位, 平成22年度(決算), 平成23年度(決算), 平成24年度(決算)(A), 平成25年度(決算見込み)(B), 平成26年度(当初予算), 目標年度(目標値), 差額(B)-(A)
Rows include: 調査項目数, セミナー参加者数, 計画の項目, 人口(4月1日), 計画の進捗度, 男女平等が確保されていると思う市民の割合, etc.

(3)事務事業コストの推移

Table with columns: 単位, 平成22年度(決算), 平成23年度(決算), 平成24年度(決算)(A), 平成25年度(決算見込み)(B), 平成26年度(当初予算), 目標年度(目標値), 差額(B)-(A)
Rows include: 正規職員従事人数, 正規職員人件費計(C), 再任用職員従事人数, 再任用職員人件費計(D), 嘱託職員従事人数, 嘱託職員人件費計(E), 人に係るコスト計(F), 物件費, うち委託料, 維持補修費, 物に係るコスト計(G), 扶助費, 補助費等, 繰出金, 移転支的コスト計(H), その他, 支出計(I)=(F)+(G)+(H), 国庫支出金, 都支出金, 分担金及び負担金, 使用料及び手数料, 繰入金, その他, 収入計(J), 収支差額(K)=(J)-(I), 一般財源投入割合

2 評価の部(CHECK)*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

公共関与の妥当性
見直し余地がある【以下に理由を記入】 3 改革・改善方向の部に反映
妥当である【以下に理由を記入】
なぜこの事業を行政が行わなければならないのか?税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か?かつ、行政が行うとした場合、国・都が行う事業か、それとも市が行う事業か?

成果の向上余地
向上余地がある【以下に理由を記入】 3 改革・改善方向の部に反映
向上余地がない【以下に理由を記入】
成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?

廃止・休止の成果への影響
影響無【以下に理由を記入】 3 改革・改善方向の部に反映
影響有【その内容】
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?そもそも、この事業は、施策の目的や公益の増進に役立っているか?

類似事業との統廃合・連携の可能性
他に手段がある(具体的な手段、事務事業) 3 改革・改善方向の部に反映
統廃合・連携ができる【以下に理由を記入】
統廃合・連携ができない【以下に理由を記入】
他に手段がない【以下に理由を記入】
男女平等・男女共同参画社会推進に関する事業は他にない。

活動指標・対象指標・成果指標の推移、公共関与性評価、有効性評価から見たこの事務事業の課題は?
男女平等推進計画の進捗管理を的確に行い、男女共同参画社会の推進していく必要がある。また、男女共同参画社会について市民の意識を高揚させ、考える機会を増やすためには、多くの市民にセミナーに参加していただくことが望ましく、市民ニーズにあったテーマを設定し開催していくことが求められる。

事業費の削減余地・歳入の確保
事業費削減(歳入確保)余地がある【以下に理由を記入】 3 改革・改善方向の部に反映
事業費削減(歳入確保)余地がない【以下に理由を記入】
成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)
さらなる歳入を確保できないか?

人件費(延べ業務時間)の削減余地
削減余地がある【以下に理由を記入】 3 改革・改善方向の部に反映
削減余地がない【以下に理由を記入】
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)

受益機会・費用負担の適正化余地
見直し余地がある【以下に理由を記入】 3 改革・改善方向の部に反映
公平・公正である【以下に理由を記入】
事業の内容が一部の受益者に偏っている不公正ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?

事務事業コスト、効率性評価、公平性評価から見たこの事務事業の課題は?
事業実施にあたっては、必要最小限の事業費と人件費で対応していると考え、セミナーについては、できる限り垣根を取り除き参加しやすい方を常に考え実施していくことが求められていると考える。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(ACTION)

(1) 1次評価者としての評価結果
公共関与と妥当性: 適切
有効性: 適切
効率性: 適切
公平性: 適切
(2) 全体総括(振り返り、反省点)
男女平等推進計画については、計画の進行管理を的確に行い、男女共同参画社会の実現に向けて取り組んでいく必要がある。現計画も期間の後半に入っており、次期計画を見据えた取り組みを行っていく必要がある。セミナーについては、参加者を増加させ、男女共同参画社会の実現について多くの方に考えていただけるようにしていくことが求められる。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可
廃止 休止 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

男女平等は人々の生活の基礎となる部分であり、日常においてそのような意識を常に持っていたらよい計画を推進するとともに、次期計画の策定においても男女共同参画社会の実現に対する課題をしっかりとらえ、推進していく体制を構築する必要がある。
セミナーについては、参加者増加のための方策を考え、より有効なものとしていく必要がある。

Table with columns: 削減, 維持, 増加
Rows: 向上, 維持, 低下
Cells: 向上削減, 向上維持, 向上増加, 維持削減, 維持維持, 維持増加, 低下削減, 低下維持, 低下増加

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

(6) 上記(3)で現状維持をチェックした場合、この事務事業はどのような状態となれば見直し・廃止となりますか?